

会員の皆さん、おめでとうございます!

令和2年 秋の褒章 受章

【黄綬褒章】宮宅 勇二様 (株)宮宅建設 代表取締役

令和2年 兵庫県功労者表彰 受賞

【まちづくり功労】中右 政勝様 (株)美広社 代表取締役

団体だより

加古川異業種交流会

メンバーズピーチで自社紹介

10月度定例会を開催

10月20日、10月度定例会が開催され、会員2名によるメンバーズピーチが行われました。

(株)フジヤ號 山本晴也氏からは、会社概要の説明の他、文房具やオフィス家具等の販売以外に新たに力を入れている、オフィスデザインの提案、ITサポート、テレワーク導入サポートについて説明を行い、今後は最新のワークスタイルを皆様に提供していきたいと述べました。続いて、印南養鶏農業協同組合 松尾邦光氏より「食」をテーマとして今後起こる可能性のある食糧不足について説明がありました。

人口の増加、世界規模の異常気象による不作、バイオ燃料への転換による穀物不足等により、世界で食糧不足がおこりえるので、食糧不足に陥らないために、自国農業の保護やリサイクル率をあげていくことが必要。また自分たちでできることは、リサイクルでごみを減らし食品廃棄量を減らす努力をすることが大切だと述べました。参加者は25名

加古川市環境保全研究会

ごみ処理施設について学ぶ

1エコファクトリー部会研修会を開催

10月20日、高砂市生活環境部 広域ごみ処理施設建設推進室 主幹 金尾昭氏を講師に「2市2町(加古川市、高砂市、稲美町、播磨町)のごみ処理広域化にかかわる可燃ごみ処理施設の概要について」と題した講演が行われました。2市2町のごみ処理広域化には2つの背景があり、まず歯科保健センターや夜間急病センターをはじめとする広域行政が実施されており、結びつきが強い点。二つ目に既存のごみ処理施設(加古川市新クリーンセンター、高砂市美化センター等)の更新したのが同時期である点との説明がありました。

また、ごみ処理施設の概要や設備について、津波・高潮対策として敷地内の地盤高さを海面から+3.5m、重要な設備は+4.2m以上の高さに設置し、浸水対策を強化している点と、回転ストローク力という燃焼方法の特徴等の解説がありました。参加者は38名

団体だより

青年部

次年度会長予定者を選出

1臨時総会を開催

10月16日、令和2年度10月臨時総会を開催しました。今回の臨時総会では、次年度令和3年度の会長予定者選出について審議し、永戸潤氏が選出されました。

コロナ禍での開催となり、ソーシャルディスタンスを保った会場設営をしたり、例年とは異なる様子となりましたが、創意工夫により開催することができました。



今年も残りわずかとなりましたが今年度も最後までメンバー一同熱く駆け抜けます

団体だより

加古川異業種交流会

メンバーズピーチで自社紹介

10月度定例会を開催

10月20日、10月度家族例会「感謝感激ハロウィン祭」をみとるフルーツパークで開催しました。

コロナ禍の状況下、委員会メンバーと試行錯誤の中での開催でしたが、当日たくさんの方のメンバー、家族に参加頂き感謝でいっぱいです。

ハロウィン祭ということで参加者にそれぞれ仮装をきてもらったのですが、そのおかげで冒頭から終始和やかな雰囲気でした。家族同士の交流が深まっていました。

加古川市環境保全研究会

ごみ処理施設について学ぶ

1エコファクトリー部会研修会を開催

10月20日、高砂市生活環境部 広域ごみ処理施設建設推進室 主幹 金尾昭氏を講師に「2市2町(加古川市、高砂市、稲美町、播磨町)のごみ処理広域化にかかわる可燃ごみ処理施設の概要について」と題した講演が行われました。2市2町のごみ処理広域化には2つの背景があり、まず歯科保健センターや夜間急病センターをはじめとする広域行政が実施されており、結びつきが強い点。二つ目に既存のごみ処理施設(加古川市新クリーンセンター、高砂市美化センター等)の更新したのが同時期である点との説明がありました。

また、ごみ処理施設の概要や設備について、津波・高潮対策として敷地内の地盤高さを海面から+3.5m、重要な設備は+4.2m以上の高さに設置し、浸水対策を強化している点と、回転ストローク力という燃焼方法の特徴等の解説がありました。参加者は38名

団体だより

青年部

次年度会長予定者を選出

1臨時総会を開催

10月16日、令和2年度10月臨時総会を開催しました。今回の臨時総会では、次年度令和3年度の会長予定者選出について審議し、永戸潤氏が選出されました。

コロナ禍での開催となり、ソーシャルディスタンスを保った会場設営をしたり、例年とは異なる様子となりましたが、創意工夫により開催することができました。



今年も残りわずかとなりましたが今年度も最後までメンバー一同熱く駆け抜けます

日頃の感謝を家族へ

10月度家族例会を開催

10月25日、10月度家族例会「感謝感激ハロウィン祭」をみとるフルーツパークで開催しました。

コロナ禍の状況下、委員会メンバーと試行錯誤の中での開催でしたが、当日たくさんの方のメンバー、家族に参加頂き感謝でいっぱいです。

ハロウィン祭ということで参加者にそれぞれ仮装をきてもらったのですが、そのおかげで冒頭から終始和やかな雰囲気でした。家族同士の交流が深まっていました。



みんなの思いを連風にのせて

レクリエーションでは、卒業生と子供たちに夢、想い、好きな物、など様々な絵や文字を凧紙に描いてきてもらい、加古川凧の会の松下哲雄会長の指導のもと一から和凧を作り上げ、連凧にして大空高くあげました。しかし、無風のためなかなか飛ばず諦めかけたのですが、メンバー全員の協力のもと最後の最後であげる事ができ、子供たちもすごく感激していました。

もう一つのレクリエーションでは、消毒用のアルコールボトルを子供たちに可愛くデコレーションしてもらい、メンバーの飲食店や介護施設等に寄贈しました。子供



片平レンジャー(会長)の挨拶

たちが作成したボトルを見てお客様や利用者様に喜んでもらえたらと思います。

(#加古川商工会議所青年部 #10月家族例会) これらのハッシュタグでSNSを検索していただきますと、寄贈させていただいた消毒ボトルや、その他行事の報告もご覧頂けますので是非検索してみてください。

今回の事業にチャレンジしたことでメンバー、家族同士の交流が一層深まりました。今後のYEG活動の発展に繋がっていきたく思います。

(交流委員長 長谷川 修司)